

第1回 京都市民長寿すこやかプラン推進協議会摘録

日 時 平成24年9月13日(木) 15時30分～17時00分
場 所 御所西 京都平安ホテル 1階「平安」
出席委員 麻田委員, 内山委員, 大八木委員, 兼田委員, 木村委員, 源野委員, 小林委員,
関委員, 近田委員, 辻倉委員, 中野委員, 西川委員, 羽賀委員, 浜岡委員,
濱田委員, 檜谷委員, 藤井委員, 松本委員, 森川委員, 山岸委員, 山田委員,
吉田委員
欠席委員 荒牧委員, 伊豆田委員, 岩下委員, 岡部委員, 北川委員, 里村委員, 塩見委員,
清水委員, 林委員, 山下委員, 渡邊委員
本市出席者 門川市長, 壁介護・医療担当局長, 土井保健所長, 塩見長寿社会部長,
松尾長寿福祉課担当課長, 大西長寿福祉課担当課長, 高橋介護保険課長,
山根保健医療課長, 寺澤住宅政策課担当課長

(開会) 15:30

<司会>事務局

<開会あいさつ>門川市長

<委員紹介, 事務局紹介>事務局

<協議事項1> 会長の互選, 会長職務代理者の指名について

資料1 京都市民長寿すこやかプラン推進協議会設置要綱

塩見部長 「資料1」の「京都市民長寿すこやかプラン推進協議会設置要綱」第4条第2項により, 会長は, 委員の互選により選任することとされていますが, いかが取り計らいでしょうか。

源野委員 前回に引き続き, 浜岡委員にお願いしてはいかがでしょうか。お諮りください。

塩見部長 浜岡委員を会長に推薦したいとの御発言でしたが, いかがでしょうか。

(委員一同 拍手)

塩見部長 異論がないようですので, 浜岡委員に会長をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

浜岡委員 皆様の指名をいただきましたので、お引き受けします。

塩見部長 浜岡委員におかれましては、前回に引き続き会長職をお引き受けいただき、感謝申し上げます。それでは、会長席にお移りいただき、一言御挨拶をお願いします。

浜岡会長 (挨拶)

塩見部長 続いて、会長職務代理者の指名に移ります。「京都市民長寿すこやかプラン推進協議会設置要綱」第4条第4項に「会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。」と規定されていますので、浜岡会長に2名の会長職務代理者を指名いただきたいと思います。

浜岡会長 それでは、北川委員と渡邊委員にお願いしたいと思います。北川委員、渡邊委員におかれましては、本日欠席されているため、事務局から御本人にお伝え願えますか。

塩見部長 承知しました。それでは、以後の議事進行につきましては、要綱第5条第2項の規定により、浜岡会長に議長をお願いします。

なお、門川市長には、他の公務のため、ここで退席させていただきます。

<協議事項2> 推進協議会の運営方法について

資料1 京都市民長寿すこやかプラン推進協議会設置要綱

資料2 ワーキンググループの設置について(案)

<資料説明>事務局

<意見交換・質疑>

特になし

浜岡会長 ただいま、事務局から説明がありましたが、運営方法はこれでよろしいでしょうか。意見がないようですので、本協議会の運営方法につきましては事務局の提案どおりとし、各ワーキンググループの構成員につきましても、事務局の提案どおり私から指名させていただきますので、よろしくをお願いします。

なお、ワーキンググループの開催に当たっては、具体的な日時・場所等を事務局から連絡することとします。

＜報告事項 1＞ 「京都府介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金」の期間延長及びこれを活用した施設整備促進について

資料 3 「京都府介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金」の期間延長及びこれを活用した施設整備促進について

＜資料説明＞事務局

＜意見交換・質疑＞

特になし

＜報告事項 2＞ 平成 24 年度第 1 回地域密着型サービス事業者（候補）の選定結果について

資料 4 平成 24 年度第 1 回地域密着型サービス事業者（候補）の選定結果

＜資料説明＞事務局

＜意見交換・質疑＞

内山委員 法人種別の項目で「地域密着型特定施設入居者生活介護」について、営利法人のみ 3 件選定されていますが、これは営利法人でないと申請できないということでしょうか。

高橋課長 法人種別によって制限をかけているものではありません。これまでから、募集の時期により、社会福祉法人が多くなったり営利法人が多くなったりと、異なっています。今回については、営利法人からの応募が多かったものです。

濱田委員 地域密着型特定施設については、今まで応募が少なかったと説明されていましたが、その理由については理解されているのでしょうか。有料老人ホームなどの特定施設は、規模が小さくなればなるほど経営が難しくなります。有料老人ホームが倒産、経営できなくなると地域が大変なことになってしまいます。しっかり管理していただきたいと考えています。

高橋課長 これまで地域密着型特定施設については応募が少ない状況がありました。特定施設のほとんどが有料老人ホームであり、この有料老人ホームについては小規模な地域密着型と大規模な広域型とがありますが、効率的な運営が可能な広域型の人気が高い状況がありました。昨今、住み慣れた地域で小規模な施設をとという流れの中で、グループホームや小規模多機能型居宅介護等とも併せた複合的な施設により効率的な運営が可能な整備を進めていただいているため、今回、応募が増えてきたと理解しております。

<報告事項3> 居住支援協議会の設立について

資料5 居住支援協議会の設立について

<資料説明>事務局

<意見交換・質疑>

濱田委員 こういった協議会を作られるのは非常にいいことだと思います。ただ、今一番問題になっているのは入居時ではなく、退去時にどういった問題が出てくるかです。高齢者住宅においては、虐待等、様々なトラブルが起きています。それに対し、有料老人ホームは事前に監査をしますが、サービス付き高齢者向け住宅は当事者だけで進められてしまうため、中で何が行われているかわからない状況があります。高専賃から引き継いでサービス付き高齢者向け住宅になり、監査指導体制ができたようですが、実際にはできていません。入居してしまうと、入居者の方が弱い立場になってしまうため、市として有料老人ホームだけではなく、他的高齢者住宅についても、様々な問題に対応できるよう検討し、体制を整備してほしいと思います。

<報告事項6> 「高齢者福祉施設等の基準に関する条例骨子案」に対する市民意見の募集について

資料8 「高齢者福祉施設等の基準に関する条例骨子案」に対する市民意見の募集について

<資料説明>事務局

<意見交換・質疑>

特になし

<報告事項5> 市民公募委員の応募状況等について

資料7 京都市民長寿すこやかプラン推進協議会市民公募委員の応募状況について

<資料説明>事務局

<意見交換・質疑>

特になし

浜岡会長 市民公募委員の皆様におかれては、協議事項によっては、専門的で難解な点もあるかと思いますが、市民の代表として御自身の考えを率直に、また積極的に発言いただければと思います。事務局の方でもサポートをよろしく願います。

松尾担当課長 事務局としては、新しく就任いただいた市民公募委員を対象に、去る9月6日

に勉強会を開催するとともに、山田委員の多大な御協力を得て、「地域密着型総合ケアセンターきたおおじ」の施設見学会を開催したところです。

今後とも、市民公募委員の皆様のバックアップに努めていきますので、よろしくをお願いします。

<報告事項4> 地域包括支援センターの運営状況について

資料6 平成23年度 地域包括支援センターの運営状況について

<資料説明>事務局

<意見交換・質疑>

木村委員 5ページの「総合相談支援業務」で、地域におけるネットワーク構築の数値が低くなっていますが、これは人員配置の問題や、社会資源の把握・整理が遅れていることが理由であるとのことですが、それ以外にも何か理由があるのでしょうか。

松尾担当課長 御指摘いただいた点は、我々としても地域包括支援センターを指導する中で反省している点です。これまでから、包括が普段の取組の中でネットワーク構築に努めてきましたが、他の取組と比べると、十分ではありませんでした。こうした状況からも、地域の方の協力を得て、本年6月から実施している一人暮らし高齢者の全戸訪問事業を推進していく中で、ネットワークの充実も推し進めていきたいと考えております。

塩見部長 なかなか包括の方でネットワークづくりができない状況があります。こうした状況を踏まえて、今回、市内61箇所の包括に専門職員を1名ずつ増員し、体制を強化するとともに、市と包括をオンラインで結ぶITネットワークシステムを導入したり、ケアプラン作成の上限を下げることで負担軽減を図るなど、総合的に取り組むことで、地域のネットワークづくりを推進できる体制づくりを行っているところです。

浜岡会長 本日の議題として、報告事項7「国の動向等について」が残っていますが、閉会の時間が迫っていますので、委員の皆様におかれては、戻られてから資料を確認いただき、質問等がある場合は、事務局まで問い合わせいただくようお願いいたします。

<閉会あいさつ>壁担当局長

(閉会) 17:00